

北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院において看護師出前研修を行いました【8月21日実施】

平成29年8月21日（月）、北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院において看護師出前研修を実施しました。

看護学第三講座 長谷川真澄教授が「せん妄リスクのある高齢患者のアセスメント」をテーマに開催しました。この看護師出前研修は、北海道の地域医療を担う看護職者の皆様に対するキャリア支援をとおして、看護実践の質的向上と地域の保健医療環境の充実および発展を目的とし、平成29年度より開催しております。

当日は19名のご参加をいただきました。看護職の他、介護福祉士の方々にもご出席いただきました。せん妄リスクのアセスメント、予防と発症時の対応、認知症ケアの基本などについて具体的な事例を交えながら研修が行われました。

研修後のアンケートより、研修テーマについての関心は非常に高いことが伺われました。また、研修内容を今後活用できそうかと尋ねましたところ、「十分にできる」「ややできる」のいずれかのご回答でした。「認知症とせん妄について具体的な例を通した説明があり、理解しやすかった」などの感想が寄せられました。



▲看護師出前研修（北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院）の様子



▲看護師出前研修（北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院）の様子



▲看護師出前研修（北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院）の様子



▲看護師出前研修（北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院）の様子